

私のすすめるこの1冊

太田 耕人 (附属図書館長)

『えほんのせかい こどものせかい』

松岡享子 著

「読んで！」

不意に声がした。顔をあげると、4歳くらいの男の子が立っている。わたしは地下鉄の車内で、膝に絵本を広げていた。みていたのは、シュルヴィッツ・作『ゆき』。

これこれ、と祖母らしき婦人がたしなめたが、子どもはじっと絵をみつめている。東欧かどこかの街に、雪がひとひら、鈍色の空から落ちてくる。それをみつける少年と犬一。あいにくそれは英語版で、即席で訳して読んであげようか、ためらっているうちに、二人は四条駅で降りていった。

彼が『ゆき』を見そめたのは、絵に魅かれたからだ。絵と文が働きあって、どちらか片方ではつくりえない独自の世界をうみだすのが絵本だけれど、それでもやっぱり、絵本の中心は〈絵〉である。

そのことを教えてくれたのは、松岡享子『えほんのせかい こどものせかい』だった。著者は米国の大学院で児童図書館学を専攻。公共図書館で勤めたあと帰国し、児童文学の翻訳、研究に転じた。1967年に月刊『こどものとも』の付録に連載した文章を、7年後に出版。掌におさまるほど小さな、赤い表紙の本だったという。執筆から半世紀近く、判型は改まったが、絵本や読み聞かせに関心をもつ人を、いまでも魅了している。

読み聞かせにふさわしい絵本の大きさは？ 絵と文との割合は？ 本の「開きぐせ」のつけかた、持ちかた、ページの繰りかたは？

読み聞かせの実際にふれながら、著者が説く

は、絵をみる時間をたっぷりあたえること。絵から「お話の音が聞こえてくる」ように、「ページをくった瞬間は文は読まない」。絵と文の調整もする。たとえば、中川李枝子・作『ぐりとぐら』で、カステラができるところ。次頁の文を先取りし、「…おなべのふたをとると」と言ってから、ページを繰って、ふかふかのカステラをみせる。

あまり感情を出して読むと、子どもは絵そっこのけで、読んでいる人をみつめてしまう。先生が「作品のねらい」に気づかせようとするのもよくない。絵本にふくまれる教訓は「お話のおもしろさの影にかくれて、子どもの心にすべりこみ、そこで長い間じっとしているうちに、子どもと一緒に成長していくような性質のもの」だから。

わたしがいちばん好きなのは、来日した『ちいさいおうち』の作者、バージニア・リー・バートンと著者が旅行したときのエピソード。バートンは旅先でみた人たちを、夜、宿に帰ると、思いだして描いた。眼のまえでスケッチするのは相手に失礼だからと。彼女は小さなメモ帳を、「わたしのカメラ」と、呼んでいたそうだ。

折しも附属図書館では、幼児教育学科が読み聞かせを10月下旬からはじめようと、準備をすすめている。これを機に、ぜひ大学生のみなさんにも、絵本の愉しみを知ってほしいと思う。ちなみに、絵本の歴史や絵の読み解き方にふれたい人には、吉田新一『絵本の魅力』(斉藤文庫/726.5/Y86)がちょっと高度だけれど、おすすめです。

図書館が新しくなりました!

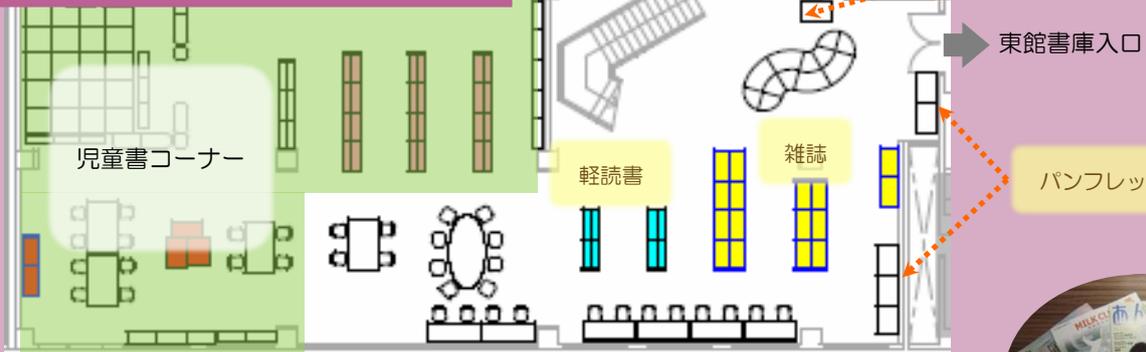
～南館 1 階・ブラウジングコーナー編～



吹き抜けと南向きの窓からの光で、明るい空間です。

今日の新聞コーナー。日刊スポーツにはすでに読まれた痕跡が…?(撮影日はイチロー選手の4000本安打と高校野球決勝の翌日でした)

図書館における「ブラウジング」とは、特に決まった資料を探すというわけではなく、本棚を漫然と見渡して気になる本や雑誌を手にとってみる、という行為を指します。本学図書館のブラウジングコーナーは、新聞や雑誌、小説類を配置し、リラックスしながら日々の情報収集や息抜きができる場を提供しています。



以前からある壁の装飾ですが、増改修後はより目立つようになりました。この角度から見るととても印象的です。



軽読書コーナーには人気作家の小説や映像化された作品などもありますので、ぜひご利用ください。図書館員選書や特別リクエストなどで徐々に新しいものも増えていますよ。



パンフレットコーナーにも面白いものがたくさん!



雑誌コーナーと軽読書

図書館からのお知らせ

夏季休業に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出を行っていますので、どうぞご利用ください。

対象者	院生・教職員	学部生
貸出冊数	12冊	7冊
貸出期間	7月6日(土)～9月3日(火)	7月20日(土)～9月18日(水)
返却期限日	平成25年10月3日(木) ※前期卒業・修了予定者は平成25年9月10日(火)となります。	

※視聴覚資料は除きます。

※長期貸出図書については、返却期限日の延長はできません。一度返却してから、翌日以降貸出の手続きをとってください。

有効期限の延長について(9月末で修了予定の方へ)

2013年9月末で本学を修了する予定の科目等履修生・研究生・特別聴講生の方は、貸出可能な有効期限が9月10日(火)までとなっているため、返却期限日も9月10日(火)になっています。資料を借りている方は、忘れずに返却してください。

ただし、9月10日(火)以降も研究を継続する場合に限り、有効期限を9月30日(月)まで延長することが可能です。カウンターにて手続きを申し込んで下さい。

なお、図書館への入館・閲覧については、9月30日(月)まで可能です(手続き不要)

附属特別支援学校の生徒が職業体験実習に来ました

8月5日(月)から6日(火)にかけて、附属特別支援学校から職場体験実習の生徒を2名受け入れました。カウンターでの貸出・返却業務の他、図書の受入やラベル装備などをしてもらいました。慣れない作業もたくさんありましたが、2人ともがんばって最後までやりとげていました。

教育資料館 まなびの森ミュージアムからのお知らせ

第2回京都・大学ミュージアム連携スタンプラリー
“今年も大学ミュージアムへ 京都の大学ミュージアムを回って知と美と素敵な景品を手にしよう！”
2013年9月20日(金)～11月30日(土)

今年も、京都・大学ミュージアム連携のスタンプラリーが開催されます。参加館をまわってスタンプを集めよう！クイズに答えて、抽選で景品(ミュージアムグッズ)がもらえるよ。詳しくは、京都・大学ミュージアム連携のHPをご覧ください。 <http://univ-museum-kyoto.com/>

※教育資料館まなびの森ミュージアムの開館日程はHPをご確認ください。 <http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 **武島 良成** (社会科学科 准教授)

「竹田の子守歌」に込めた思い
—多泉和人とはだしの子グループ—

武島良成

京都教育大学紀要. 2013, No. 122, pp. 27-40.

21世紀の今、何を目的として部落問題に目を向けるのか—これは論争を伴うテーマでしょう。今でも差別が深刻だからと主張する人がいるかもしれませんし、差別は基本的に解消されており、解決に至る努力を振り返り教訓を見出すのだという人もいることでしょう。後者の立場からは、部落問題を特殊なものとして切り取った「同和教育」によって、かえって解決が長引いたという意見が投げかけられるかもしれません。

これらに対し、筆者の元来の問題意識は、部落問題というよりも地域理解の方法にありました。京都や大阪の地域研究を学問として行うのに、部落問題(事態が複雑化し解決が長引いたことを含め、ここでは部落問題と言います)を視野に入れなければならないのは当然です。ですが、それができていない「地域研究」が目につきます。例えば、公営住宅の供給を分析するのに、改良住宅を除外するのでは、リアルな地域理解をしたことにはなりません。他方、部落に直接関わる話を切り出し、「部落史」として追究するスタイルのものも依然見られます。ですが、それでは先の方法を裏返したのになってしまいますし、双方ともに克服が迫られている研究方法と言うべきです。

そのことは、著名な「竹田の子守歌」の歌い手に関する研究にも当てはまります。先行研究の多くは、この歌を最初に歌ったのが「部落の合唱団」だと考えているようです。ですが、実際には、部落内外の出身者を含む複数の合唱団が、互いに歌い合っていたのでした。京都学芸大学(1966年に京都教育大学に改称)の先輩たちも、「はだしの子グループ」「合唱団はだし」の一員として、1965年夏頃から合唱活動に加わっていました。彼らの思いに触れることで得られる教訓は多い筈ですし、活動の事実が本学で伝承されなかった理由などは、教育行政のあり方を現代史の検討対象にする際に、絶好の切り口になるものでしょう。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 122号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/> にも公開されています。

●京都教育大学附属図書館ホームページ <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm> QRコード→



開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2013年9月							2013年10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
									1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31		
29	30						10/1 後期授業開始						

※10/23 はリニューアルオープン式典のため 13:00-15:00 休館

京教図書館 News No.156 (2013年9月号)

発行日:平成25年9月2日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp



京都教育大学